



農協だより

Vol.61

URL : <http://www.ja-aki.jp>

平成 23 年 9 月

平成22年産余剰玄米の買い入れについて

平成 23 年産の収穫を直前にして、JA 安芸では平成 22 年産余剰玄米の独自買い入れをさせていただきます。出荷を希望される方は庭先集荷をいたしますので、熊野購買センター(854-0059)へご連絡ください。また、平成 23 年産米も出荷は、是非 JA 安芸へお願いいたします。

秋の農作業安全月間

9 月 1 日～10 月 31 日までの 2 カ月間を「秋の農作業安全月間」と定め農作業死亡事故ゼロ及び農作業事故発生防止の徹底をお願いいたします。

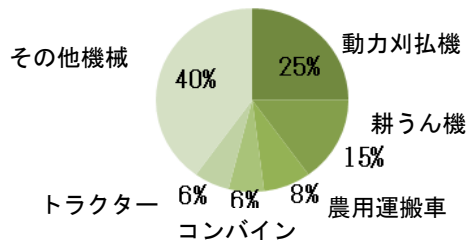
農機別事故で一番発生が多いのが刈り払い機(草刈り機)です。

草刈り機の使用でこんなヒヤリ経験がありませんか？

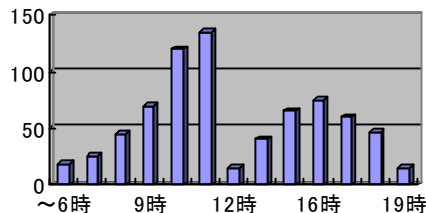
- ① 保護メガネの隙間からゴミが目の中に入った。(保護具は体に合ったものを使って下さい)
- ② 濡れた草で足を滑らせ転んだ(足が滑りやすい濡れた草を踏んでの作業、急傾斜地での作業はスパイク靴を履くようにして下さい)
- ③ 刃の取り付けが悪く草刈り中に刈り刃が外れた。(使用前には正しく取り付けられているか点検しておきます)

時刻別事故発生件数を見ると作業を始めて 2 時間後ぐらいが事故が多くなっているようなので休憩を取り、疲れた状態で作業を続けないようにしましょう。

農機別事故発生件数



時刻別事故発生件数



水田の土壌診断の申込要領を別紙に添付しております。

講習会を開きました！

8/1 瀬野女性部、8/2 ススキグループ、8/3 中野野菜生産者会、8/3 阿戸農事研究会、8/5 スミレ会花講習会、8/1～5 稲作講習会、8/9 育苗センター農業講座、8/11 坂町農業講習会、8/30 熊野町黒大豆生産組合農談会

切花品評会を開催いたしました！

7 月 30 日、阿戸支店において「平成 23 年度 JA 安芸切花品評会」を開催しました。2 階ホールには、阿戸小学校児童の独創的な作品が展示され、会場にひと花咲かせていました。出品切花 55 点も、同じくホールに展示されました。

年々、切花生産者減少の傾向ですが、今年も 5 月の低温や 7 月に入ってからの猛暑など、栽培が難しいなか、立派な作品を多数出品していただきました。

この品評会は、管内の切花栽培農家の技術向上を目的に、毎年開催しております。午後からは特別賞の安芸区長賞をはじめ、組合長賞など計 15 点の表彰式を行ないました。

入賞された皆様、大変おめでとうございます。その後、夕方からは駐車場で A コープ阿戸店の納涼祭が開かれ焼鳥などバザーがあり、遅くまで飲み、語り歌い楽しく過ごして頂きました。

「切花品評会」、「納涼祭」に、多数ご参加いただきありがとうございます。

来年も多数のご参加を心よりお待ちしております。



JA 安芸アグリパーク継続説明会

8 月 5 日～8 月 10 日まで各地区で JA 安芸アグリパーク(貸し農園)の継続説明会及び野菜栽培講習会を行いました。

JA 安芸アグリパークは、管内の皆さま方に野菜や草花の栽培と収穫を楽しんでいただくもので、現在瀬野菜園、荒野菜園、平原菜園、野間菜園、川原地菜園、末田菜園、呉地菜園、神田菜園、浜角菜園の 9 カ所あり、577 区画あります。利用率は 98%で多くの方に喜んでいただいています。

農業委員会パトロール

安芸地区協議会(構成員、広島市農業委員、農業委員会事務局、安芸区農林課、(財)広島市農林水産振興センター、農協)で、農地利用状況調査の為のパトロールを行いました。

遊休農地、放棄農地、および現在耕作中でも将来の貸出希望の農地をパトロール(巡視)しました。優良農地については広島市は新規就業者の紹介、市民農園の候補地として活用される予定です。

将来のために農業者年金に加入しませんか！ ただ今、加入者募集中！

◇農業に従事する人が加入できる確定拠出型で、公的年金制度です。

◇年金は(自分の年金を自分で積み立てる)積立て方式です。

◇80 歳までの保障がついた終身年金です。

◇基本保険料額は 20,000 円ですが、農業経営や老後設計に応じて自由に決められます。

◇年金保険料は全額社会保険料控除の対象となり節税効果があります。

お問い合わせ・お申し込み 市町農業委員会(事務局)、お近くの JA の窓口まで



9月営農メモ



..花き..

キンセンカ

春の彼岸の需要が高く価格の良い時期に出荷させる為に、9月上旬から9月中旬にかけて播種します。品種は耐寒性が強い「オレンジスター」や「やしま芯黒」などがいいでしょう。育苗に関しては、1dℓで3.3㎡播種でき発芽適正温度は15~20℃ため寒冷紗などで温度を下げてください。灌水は頭上からすると腐敗しやすいので条間灌水します。発芽後7~10日と15~20日の2回間引きします。育苗期間は約25日でその後畝幅100~120cm、条間2~4条を株間9~12cm間隔で本田に定植します。本葉10枚頃に6~7枚残して摘心し4~5本仕立てにします。

..野菜..

冬取りのはくさい

8月中旬に播種するはくさいは11月上~中旬に収穫となりますが、この時期は多く出回っているため、※9月上~中旬頃に播種し、12~2月頃に収穫できる物を栽培しましょう。
※地区及び品種にもよりますが播種時期は絵袋を確認ください。播種適期を過ぎた場合結球しない恐れがあります。

品種 無双などの早生種ではなく、晩抽制で耐寒性が強い中~晩生を播きます。
(黄ごころ80~90、金将二号、冬峠、ほまれ二号、晩輝など)

根こぶ病対策 根こぶ病が発生する圃場では抵抗性のある品種(きらぼしシリーズなど)を栽培するとともに、石灰資材を多めに施し、排水不良地で被害が増加しますので高畦など排水対策を行い被害を軽減させましょう。

薬剤としては定植(播種)前にフロンサイド粉剤、ネビジン粉剤などを使用します。

肥料 基肥は早生種に準じますが栽培期間が長いため、移植の場合本葉12枚頃、結球初めに多木V化成を1回当たり20g/㎡程度の追肥を行います。雨が多い場合には途中1回追肥を多くします。

中~晩生品種は圃期間が長く、早生に比べ大株となりますので株間を広く取りましょう。

灌水 生育中乾燥条件下になると石灰やホウ素の欠乏などの生理障害が発生しやすくなります。水が不足した場合、外葉が十分にできず結球しないことがありますので晴天が続いた場合や追肥後には灌水を行いましょう。

マルチを使用すると土壌の乾燥が抑えられ生育を促進につながります。

その他の管理 結球初めには止肥を施すとともに害虫の防除を行います。

結球後は寒害を受けやすくなりますので霜に2~3回あわせた後結束を行います。

..水稲..

◎適切な水管理で、粒張りのよい米に仕上げましょう。

出穂後30日までは粒は肥大しており、早期落水は登熟歩合の低下や玄米の充実不足の原因になります。落水は出穂後30日をめやすとします。落水後も田面が乾き過ぎないように走り水をするとう登熟により影響を与えます。

◎斑点米カメムシ 早期発見、早期防除に努めましょう。

8月8日に注意報が発令されました。特に、山間棚田やイネ科雑草繁茂地の周辺では被害が出やすいので注意してください。ホソハリカメムシ等の加害種は、収穫期近くまで加害するので出穂前後の防除をしても本田で散見される場合は追加防除を行ってください。

◎収穫適期 気温が高めに推移すると成熟期が早まりますので、稲作ごよみを参考に青刈率を確認して刈り遅れにならないようにしましょう。

◎籾の乾燥 適正水分14.5%をめざしましょう。

◎適正水分の確保 急激な乾燥は食味を落としますので1時間当たりの乾燥率を0.8%以下にしてください。

..果樹..

ブドウ

収穫

収穫果の目標は、ピオーネ(大粒系)450g~500g/房で34粒、マスカット・ベリーA(中粒系)350g/房で60粒。ピオーネは、大粒、大房であり油断して結果過多にすると果肉は軟らかくなり赤熟れなどの着色不良になりやすく酸が抜けないので食味も充分でなく日持ちも巨峰に劣ることになります。ピオーネの栽培においては、徹底した摘粒、果房数制限による適正収量を図ります。

デラウェアや巨峰は着色が良いほど糖度が高く、着色の程度で収穫時期を判断します。しかし、生育状況や作型の早晩、そして年によって違うのであらかじめ糖度計で測定し、しかも食味を試して収穫作業に入ります。

施肥

秋肥には2つのねらいがあります。

- ① 伸長のとまった新梢の葉の急激な老化を防止、晩夏から晩秋にかけての光合成能力の減退を緩和する。
- ② ブドウの根の発根および伸長は早春から5月下旬まではきわめて緩慢で、活発な活動は6月上旬からはじまるため早春の養水分の吸収は前年度に決まった根圏で行われる。そこへ施肥された秋肥が早春までに根圏に到達し春先の新梢の伸長に役立つことが期待される。

以上のねらいから、秋肥は速効性と遅効性の窒素肥料がほどよく調和している必要がある。秋肥からみた鶏糞は、有機質肥料で速効性と遅効性の両成分を含んでおり安心して使える肥料です。施用量はa当たり30kg内外で9月の早い時期に施す。